

News Release



2025年10月30日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
四 国 支 所

ストーブとの程よい距離感が大切です

～「電気」「石油」暖房器具の事故を防ぐ 4+1 のポイント～ （四国地方における事故を中心に）

本資料は、製品評価技術基盤機構（以下「NITE（ナイト）」という。）が経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ及び消費者庁記者クラブに対して行う、主な暖房器具の事故のうち、電気ストーブ・ファンヒーター（以下、電気暖房器具）と石油ストーブ・ファンヒーター（以下、石油暖房器具）の事故を防ぐための注意喚起にあわせて、四国地方の各県での事故事例を補足的に紹介するものです。

1. 四国地方での事故

（1）年別事故発生件数と被害状況

2019年から2024年の5年間にNITE（ナイト）に通知のあった製品事故情報のうち、四国地方4県（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）で発生した電気暖房器具及び石油暖房器具の事故は、合計で13件あり、全てが火災を伴った事故でした。

事故の被害状況については、13件の事故のうち「死亡」が1件、「軽傷」が3件、「拡大被害」が6件です。

事故件数等の詳細については、表1に年別事故発生件数を、表2に被害状況別事故発生件数及び被害者数を、表3に原因区分別事故発生件数を示します。

表1. 年度別暖房器具による事故発生件数

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
発 生 年	2020年度	1	2	2	1	6
	2021年度	0	0	2	1	3
	2022年度	0	0	0	1	1
	2023年度	0	0	0	1	1
	2024年度	0	1	1	0	2
合計		1	3	5	4	13

表2. 被害状況別事故発生件数及び被害者数(暖房器具)

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
被害状況	死亡	0	0	1	0	1
	重傷	0	0	0	0	0
	軽傷	0	0	1	2	3
	拡大被害	3	0	3	2	8
	製品破損	0	1	0	0	1
	被害無し・不明	0	0	0	0	0
合計		3	1	5	4	13
被害者数	死亡	0	0	1	0	1
	重傷	0	0	0	0	0
	軽傷	0	0	1	2	3
合計		0	0	2	2	4

(注) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害(製品破損)に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

表3. 原因区分別事故発生件数(暖房器具)

		徳島県	香川県	愛媛県	高知県	合計
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	0	0	0	2	2
	B: 製品および使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0
	G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの	0	1	0	0	1
	小計	0	1	0	2	3
製品に起因しない事故	D: 施工、修理又は輸送などに問題があったもの	0	0	0	0	0
	E: 誤使用や不注意によるもの	0	0	1	0	1
	F: その他製品に起因しないもの	0	0	2	2	4
	小計	0	0	3	2	5
G: 原因不明なもの (G3を除く)		1	2	2	0	5
H: 調査中		0	0	0	0	0
合計		1	3	5	4	13

(2) 四国地方において発生した事故の事例

① 2021年 12月、愛媛県、女性・80歳以上、拡大被害

品名：石油ストーブ（開放式）

【事故の内容】

石油ストーブを点火したところ、出火し、機器及び周辺を焼損した。

【事故の原因】

事故品は、置台に堆積した大量の埃が給気口を塞いで給気不足となり、不完全燃焼によって未燃灯油や煤が燃焼筒周辺の部材に付着し、吹き返し現象により燃焼筒下の

空気取り入れ口から炎が吹き出し、置台の埃に引火したものと推定される。なお、本体側面の「使用上のご注意」には、「2か月に1回付着したごみや埃をふきとってください。」旨、記載されている。

② 2020年 11月、高知県、女性・40歳代、拡大被害

品名：電気温風機（セラミックファンヒーター）

【事故の内容】

当電気温風機（セラミックヒーター）を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

当該製品は、本体底部の内部配線カシメ接続部の焼損及び電源コードの半断線が認められたことから、カシメ不良により接続部付近の電源コードが過熱し、出火に至ったものと推定される。

③ 2022年 2月、高知県、性別・年代：不明、拡大被害

品名：電気温風機（セラミックファンヒーター）

【事故の内容】

店舗で電気温風機（セラミックヒーター）及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

当該製品は、製造不良により、内部配線が傷つけられたため、使用に伴い半断線状態となって異常発熱し、出火したものと推定される。

2. 事故の再現実験映像について

映像（動画・写真）をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構＋nite ロゴ」としてください。

（本件に関する問い合わせ先）

〒760-0023 香川県高松市寿町1-3-2 日進高松ビル5F

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 四国支所

担当者：下川、佐藤

電話：087-851-3961